

保育実習に関する意欲と現状について

— 学生のアンケートを中心に —

The Present Conditions in Childcare Training and Students' Willingness to Study it — Centering on a Student Trainees' Questionnaire —

(2007年3月31日受理)

土谷 由美子

Yumiko Tsuchiya

Key words : 施設実習, 保育所実習, 意欲

要 約

保育者養成課程において、実習は不可欠である。保育実習は保育所実習と施設実習に分けられる。保育士資格を取得するために学生がどのような意識をもって実習を行っているのかを明らかにするために、施設実習終了後と保育所実習終了後に学生を対象にアンケート調査を行った。実習の事前の取り組み、施設、保育所（園）に対する評価、担当職員からの指導評価、実習生の自己評価、実習前後の施設、保育所（園）のイメージ、実習経験を総括する評価を集計した。その結果、施設実習、保育所実習共通していえることは、実習生の自己評価で事務的な仕事や記録が迅速かつ確に処理できたの項目で否定的であった。担当職員からの指導評価では、実習の事前の取り組みと連動する結果が現れた。

1. はじめに

保育士養成課程では、「保育実習」が必修、「保育実習Ⅱ」「保育実習Ⅲ」はどちらか1つが選択必修である。「保育実習」（必修）の内容は、保育所実習と保育所以外の居住型の児童福祉施設等の実習で成り立っている。

本学保育学科では学内での講義や実技を通して、理論や知識、技能を身につけたものを、1年終了時の2月に施設実習と、2年の5月の下旬から6月中旬にかけて保育所実習を行っている。実践活動として実習を通して利用児・者や幼児と直接関わりながら、経験的知識や実践への応用力を学ぶために施設実習、保育所実習を行っている。

ほとんどの学生にとって、保育所（園）は中学校の体験授業や、高校でのボランティアで経験しているが、施設への知識はなく漠然とした思いのまま実習している状況である。

施設実習や保育所実習は、実習施設・実習保育所（園）

と養成校と学生を含めた三者の関係のもとで成り立っている。施設実習は施設が多様であり、対象の年齢層も幅も広く、数日のボランティアをしているとはいえ、学生一人ひとりが希望する施設で実習できない現状である。保育所実習では、地元の保育所で実習し、現状も少し理解できている状態である。

本研究は、このような現状を踏まえ、保育士資格取得のため必修である施設実習、保育所実習に臨む学生の事前の不安と、担当者からの実習中の指導や実習後の認識を探究し、学生が意欲的に実習できるよう今後の実習指導の手がかりにすることを目的とする。

2. 研究方法

- 1) 調査対象は中国短期大学保育学科の「保育実習」履修160人のうち、「施設実習」履修者159人、「保育所実習」履修者157人である。
- 2) 調査時期は2006年3月施設実習終了後と7月保育所

実習終了後に行った。

- 3) 調査方法は無記名方式のアンケート調査である。
- 4) 調査項目は6つの枠組みから構成された計19項目から作られている。6つの枠組みの1番目の枠組みは、学生の事前に実習に対する取り組み姿勢の3項目(No.1～No.3)である。2番目の枠組みは施設、保育所(園)に対する評価の3項目(No.4～No.6)3番目の枠組みは、実習中の担当職員からの指導に関する5項目(No.7～No.11)4番目の枠組みは自己の実習成果に関する5項目(No.12～16)5番目の枠組みは実習前・実習後の施設、保育所(園)のイメージの2項目(No.17～18)である。そして、6番目の枠組みは実習経験を総括的に評価する1項目(No.19)で

ある。

3. 結果と考察

1) アンケート調査の結果について

ここで用いるデータの数は施設の分類はせず施設実習と、保育所実習の比較をしてみた。(表1)

① 学生の事前に実習に対する取り組み姿勢

課題や目標をきちんと持って実習に行った学生は施設実習では95%、保育所実習では85.4%と高かった。(No.1) 実習前の実習へ向けて取り組む姿勢は施設実習も保育所実習も69%、65%とやや低かった。(No.2) 2年間の間に施設、保育所(園)、幼稚園と

表1. アンケート結果

質 問	実習種別	は	い	い	い	え
1. あなたは自分の課題や目標をきちんと持って実習に臨みましたか。	施設実習	151人	95.0%	8人	5.0%	
	保育所実習	134人	85.4%	23人	14.6%	
2. 実習前、実習に向けて自分の取り組む姿勢は積極的でしたか。	施設実習	110人	69.2%	49人	30.8%	
	保育所実習	102人	65.0%	55人	35.0%	
3. 施設の利用児・者、保育所の子どもを理解するためによく事前学習しましたか。	施設実習	82人	51.6%	77人	48.4%	
	保育所実習	54人	34.4%	103人	65.6%	
4. 施設の利用児・者、保育所の子どもは生き生きとしましたか。	施設実習	155人	97.5%	4人	2.5%	
	保育所実習	156人	99.4%	1人	0.6%	
5. 施設、保育所はアットホームな環境でしたか。	施設実習	145人	91.2%	14人	8.8%	
	保育所実習	134人	85.4%	23人	14.6%	
6. 施設の利用児・者、保育所の子ども職員の人間関係はうまくいったと思いますか。	施設実習	154人	96.9%	5人	3.1%	
	保育所実習	151人	96.2%	6人	3.8%	
7. 施設、保育所での実習生の受け入れ準備はできていましたか。	施設実習	139人	87.4%	20人	12.6%	
	保育所実習	126人	80.3%	31人	19.7%	
8. 日誌の内容や書き方をよく指導してもらえましたか。	施設実習	82人	51.6%	77人	48.4%	
	保育所実習	122人	77.7%	35人	22.3%	
9. 実習中個別に指導助言がありましたか。	施設実習	131人	82.4%	28人	17.6%	
	保育所実習	139人	88.5%	18人	11.5%	
10. あなたと担当職員との人間関係はうまくいったと思いますか。	施設実習	137人	86.2%	22人	13.8%	
	保育所実習	147人	93.6%	10人	6.4%	
11. 自分のテーマレポートに関して指導を受けましたか。	施設実習	70人	44.0%	89人	56.0%	
	保育所実習	12人	7.6%	145人	92.4%	
12. あなたは利用児・者、子どもに積極的にかかわることができましたか。	施設実習	153人	96.2%	6人	3.8%	
	保育所実習	155人	98.7%	2人	1.3%	
13. 事務的な仕事や記録などが迅速かつ確に処理できましたか。	施設実習	109人	68.6%	50人	31.4%	
	保育所実習	93人	59.2%	64人	40.8%	
14. あなたの实習内容に対していつも肯定的評価をうけましたか。	施設実習	108人	67.9%	51人	32.1%	
	保育所実習	146人	93.0%	11人	7.0%	
15. 実習施設、保育所で実習できたことをよかったと思いましたか。	施設実習	159人	100.0%	0人	0.0%	
	保育所実習	155人	98.7%	2人	1.3%	
16. 実習を終えて施設、保育所に対する理解はできましたか。	施設実習	157人	98.7%	2人	1.3%	
	保育所実習	156人	99.4%	1人	0.6%	
17. 実習前の施設、保育所へのイメージはいいイメージでしたか。	施設実習	66人	41.5%	93人	58.5%	
	保育所実習	143人	91.1%	14人	8.9%	
18. 実習を終えて施設、保育所へのイメージはいいイメージに変わりましたか。	施設実習	157人	98.7%	2人	1.3%	
	保育所実習	149人	94.9%	8人	5.1%	
19. 実習を終えて施設、保育所で働きたいと思うようになりましたか。	施設実習	136人	85.5%	23人	14.5%	
	保育所実習	141人	89.8%	16人	10.2%	

3回実習を行っている。そして、保育士資格取得のための保育実習は必修である。初めての实習で施設に行くため保育所（園）、幼稚園のように自分が幼児の頃通っていたり、ボランティアなどからの知識もなく、どんな生活をしているのかどんな実習をすればいいのかわからないまま、受身で事前授業を受けていて、自ら積極的に取り組めていなかったであろう。授業の中では少しでも主体的に関われるようにビデオや資料の提供、卒業生からの施設、保育所（園）の現状の話などを工夫しているが理解するまでにはいたっていなかった。保育所実習では、事前学習しなくてもある程度の知識があるので、課題や目標はきちんと持てたが、それが積極的に取り組む姿勢や、よく事前学習をすることにはつながっていなかったようである。

② 施設・保育所（園）に対する評価

施設内の利用児・者は生き生きとしたものでは、施設も保育所（園）も生き生きとしていたようだ。（No.4）アットホームな環境では、意外にも保育所（園）で、14.6%がアットホームでなかったようだ。（No.5）利用児・者、子どもと担当者の人間関係（No.6）は施設実習でも、保育所実習においても100%ちかくよいと感じていた。施設は利用児・者と職員との長期にわたる人間関係に基づく生活の場、訓練や治療の場であるので環境や人間関係、生き生きとした生活ができていて学生の施設は暗いもの、障害児・者への恐怖感等偏った思い込みと違って施設の真の姿を知ったのであろう。保育所（園）で生活する子どもは、家庭を離れて一日の大半を集団で過ごしている。従って、保育所（園）が子どもにとって心地よい生活の場となっていることをよく知っていたから多少の違和感のある保育所（園）があったようだ。

③ 実習中の担当者からの指導

実習生の受け入れ準備について（No.7）、個別の指導助言（No.9）、担当者との人間関係（No.10）はすべて施設、保育所（園）で80%から90%でとてもうまくいっていたようである。だが、日誌の指導では、施設で50%ぐらいしか指導してもらえていなかった。（No.8）自分の実習テーマに関しては、指導を受けた学生は施設・保育所（園）ともに低く、

保育所（園）においては7.6%と指導を受けなかった学生が多かったようだ。（No.11）施設は保育士のためだけでなく社会福祉士、介護福祉士、看護師、教師などの実習を引き受けているのにも関わらず気持ちよく受け入れてくださっている。施設で実習中担当者から指導してもらった内容は、利用児・者との関わり方を中心に、利用児・者の実態が中心になっていた。保育所（園）での指導は、子どもへの関わり方や、日誌（指導案）の指導が中心となっていた。施設で日誌の指導がしていただけなかったのは変則勤務であり、実習生への対応も充分できなかったであろう。テーマレポートに関しては自らの姿勢を見せなかったからである。

④ 自己の学習成果

積極的にかかわれた（No.12）、実習施設、保育所（園）で実習できたことがよかった（No.15）、施設、保育所（園）に対する理解（No.16）はすべての施設、保育所（園）で96%以上になっており高い成果があった。事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できた（No.13）では、施設では68%、保育所（園）では59%であった。なかなか迅速かつ的確に事務処理は出来ないようである。実習内容に対して肯定的評価であった（No.14）については、施設で68%、保育所（園）で93%と大きく違いが現れた。保育所（園）では常に指導職員がついているが、施設では実習指導職員が関わってくれている状態ではないからであろう。施設も保育所（園）も積極的に関わればしたが、すべての施設、保育所（園）で実習生がどこまで関わっているのか困ったようである。他に施設では中高生との関係への対応の仕方、年齢差がなくしかも思春期にあたる女子高生と接するときなど気を使い、少し強い調子で話されたり、無視されて混乱し、恐くて話せなくなってしまったりして、利用児への援助技術は大変であったようである。特に、障害児・者施設では医療に関する専門性、看護的な施設の性格が強いことである。保育所（園）では、保育所職員との関係、子どもとの関係が大変であったようである。いつも一緒に生活するので仕事が多かったり、きつく言われたりであった。実習施設・保育所（園）の理解はでき、実習施設で実習できた

ことはよかったようだ。だが、施設実習は一施設でしか実習できないため、全施設に対しても理解を深めて欲しいものである。

⑤ 実習前後の施設のイメージ

実習前の施設のイメージ (No.17) は、すべての施設において悪いイメージが58.5%と半数以上であった。保育所 (園) は、91.1%がよいイメージであった。実習後の施設はよいイメージになったが保育所 (園) よりも高くなっていた。(No.18) 実習先は希望調査を行っているが学生は児童施設の乳児院、児童養護施設に希望するが、実習の承諾を得ている施設は障害者系施設が多い。大多数の学生が第1希望で実習できていない現状であるため、よいイメージが、持ちにくいのであろう。本学のカリキュラムも乳児・幼児のための教科中心になっているため、保育所実習には有利であるが、障害に対して学ぶ場が少ないのである。施設実習の事前指導だけではあまり効果が認められず、実習生は否定的な先入観を持って

実習にいつているようだ。だが、実習後にはほとんどの学生が施設での職員・利用児・者との関係や支援の仕方等が理解でき施設のイメージがよくなっていた。

⑥ 実習経験の総括的評価

施設・保育所 (園) で働きたいか (No.19) については、85%以上が施設でも保育所 (園) でも働きたいようだ。働きたくない理由は施設では、子どもと関わりたい、大変な仕事だから、中高生と関われない、自分に出来るか不安、自分に合わない等あり、保育所 (園) では、仕事の多さ、忙しい、他にしたいことがある、給料面が不安などであった。

2) 施設で働きたい意欲と項目との関係

施設・保育所 (園) で働きたい意欲のある学生と18項目との関係を集計した。その結果は表2のとおりである。

施設実習で「働きたい」と答えた人が「働きたくない」と答えた人より「はい」が多かったのは、18

表2. 施設・保育所で働きたい意欲と項目との関係

質 問	種 別	施設実習		保 育 所 実 習	
		働きたい	働きたくない	働きたい	働きたくない
1. あなたは自分の課題や目標をきちんと持って実習に望みましたか。	は い	130人 95.6%	21人 91.3%	121人 85.8%	13人 81.3%
	い い え	6人 4.4%	2人 8.7%	20人 14.2%	3人 18.8%
2. 実習前実習に向けて自分の取り組む姿勢は積極的でしたか。	は い	90人 66.2%	20人 87.0%	95人 67.4%	7人 43.8%
	い い え	46人 33.8%	3人 13.0%	46人 32.6%	9人 56.2%
3. 施設の利用児・者、保育所の子どもを理解するためによく事前学習しましたか。	は い	70人 51.5%	12人 52.2%	47人 33.3%	7人 43.8%
	い い え	66人 48.5%	11人 47.8%	94人 66.7%	9人 56.2%
4. 施設の利用児・者、保育所の子どもは生き生きとしましたか。	は い	133人 97.8%	22人 95.7%	140人 99.3%	16人 100.0%
	い い え	3人 2.2%	1人 4.3%	1人 0.7%	0人 0.0%
5. 施設、保育所はアットホームな環境でしたか。	は い	125人 91.9%	20人 87.0%	121人 85.8%	13人 81.3%
	い い え	11人 8.1%	3人 13.0%	20人 14.2%	3人 18.8%
6. 施設の利用児・者、保育所の子どもと職員の間関係はうまくいったと思いませんか。	は い	132人 97.1%	22人 95.7%	136人 96.5%	15人 93.8%
	い い え	4人 2.9%	1人 4.3%	5人 3.5%	1人 6.2%
7. 施設、保育所の実習生の受け入れ準備はできていましたか。	は い	120人 88.2%	19人 82.6%	114人 80.9%	12人 75.0%
	い い え	16人 11.8%	4人 17.4%	27人 19.1%	4人 25.0%
8. 日誌の内容や書き方をよく指導して貰えましたか。	は い	68人 50.0%	14人 60.9%	108人 76.6%	14人 87.5%
	い い え	68人 50.0%	9人 39.1%	33人 23.4%	2人 12.5%
9. 実習中個別に指導助言がありましたか。	は い	113人 83.1%	18人 78.3%	123人 87.2%	16人 100.0%
	い い え	23人 16.9%	5人 21.7%	18人 12.8%	0人 0.0%
10. あなたと担当職員との人間関係はうまくいったと思いませんか。	は い	117人 86.0%	20人 87.0%	137人 97.2%	10人 62.5%
	い い え	19人 14.0%	3人 13.0%	4人 2.8%	6人 37.5%
11. 自分のテーマレポートに関して指導を受けましたか。	は い	61人 44.9%	9人 39.1%	9人 6.4%	3人 18.8%
	い い え	75人 55.1%	14人 60.9%	132人 93.6%	13人 81.2%
12. あなたは積極的にかかわることができましたか。	は い	130人 95.6%	23人 100.0%	139人 98.6%	16人 100.0%
	い い え	6人 4.4%	0人 0.0%	2人 1.4%	0人 0.0%
13. 事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できましたか。	は い	89人 65.4%	20人 87.0%	86人 61.0%	7人 43.8%
	い い え	47人 34.6%	3人 13.0%	55人 39.0%	9人 56.2%
14. あなたの実習内容に対していつも肯定的評価をうけましたか。	は い	92人 67.6%	16人 69.6%	135人 95.7%	11人 68.8%
	い い え	44人 32.4%	7人 30.4%	6人 4.3%	5人 31.3%
15. 実習施設・実習保育所で実習できたことをよかったと思いませんか。	は い	136人 100.0%	23人 100.0%	141人 100.0%	14人 87.5%
	い い え	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 12.5%
16. 実習を終えて施設・保育所に対する理解はできましたか。	は い	134人 98.5%	23人 100.0%	140人 99.3%	16人 100.0%
	い い え	2人 1.5%	0人 0.0%	1人 0.7%	0人 0.0%
17. 実習前の施設・保育所に対するイメージはよいイメージでしたか。	は い	56人 41.2%	10人 43.5%	129人 91.5%	14人 87.5%
	い い え	80人 58.8%	13人 56.5%	12人 8.5%	2人 12.5%
18. 実習を終えて施設・保育所のイメージはよいイメージに変わりましたか。	は い	136人 100.0%	21人 91.3%	138人 97.9%	11人 68.8%
	い い え	0人 0.0%	2人 8.7%	3人 2.1%	5人 31.2%

項目中9項目であった。保育実習で「働きたい」と答えた人が「働きたくない」と答えた人より「はい」が多かったのは、18項目中12項目であった。

施設実習で実習前実習に向けて取り組む姿勢が積極的であった、事務的な仕事が迅速かつ的確に処理できたで働きたくないと答えた人が87%であった。保育所実習では、個別に指導助言があった、積極的に関わることができたで働きたくないと答えた人が100%であったことに驚かされた。働きたくない人で働きたくない人より高くなっていたのは、施設でNo. 2, No. 8, No. 13で保育所(園)ではなかった。

4. おわりに

本学学生のアンケートをもとに保育実習(施設実習・保育所実習)についての意識の一端が明らかになった。

No. 1からNo. 3の施設実習については、最近の学生の傾向がでていようである。何でも自分から積極的に行動せず、言われたことだけそつなくこなすという受け身である。ここで注意しなくてはいけない項目は、No.3の施設、保育所(園)の利用児・者、保育所の子どもを理解するために事前学習をしたかでは、施設実習は48.4%、保育所実習にいたっては65.6%の学生が事前学習をしないまま実習に参加しているということである。

No. 4からNo. 6の施設に対する評価では、利用児・者や幼児と担当職員との関係が親密であり、信頼関係で結ばれ、居心地のよい場所とうつり、学生は肯定的にとらえていた。

No.12からNo.16の実習の成果では、施設実習、保育所実習に共通していえることは、事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できましたか、できなかつたが多くあったことである。このことは、平素の授業ノートやレポートを見てもわかることであるが、誤字脱字が多く、簡単な漢字も書けない状況である。これについてはパソコンや携帯電話の普及により、辞書を引いて漢字を調べたり、手紙を書かなくなったことが影響しているものと考えられる。

No.17とNo.18の実習前後の施設、保育所(園)のイメージでは、実習前は施設というものに対しては知識、認識が不足しており、漠然とした暗いイメージであったもの

が、実習終了後、施設内も明るく、体験による理解でいいイメージに変化している。

No.19の実習経験の総括的評価では、施設実習経験者も保育所実習経験者も大多数働きたいと答えている。

以上、実習の現状は、施設実習では、事前のイメージをもっといいイメージに変えていかないといけない。施設実習、保育所実習ともにいえることは、事前学習を積極的にできる工夫、文章を書くことを全教員に協力してもらい迅速かつ的確に処理できるような工夫をしなければいけない。実習の体験をしたことにより、実践と理論が統合され、さらには自分自身の児童観、保育観、福祉観の形成といったものに、結びつけることや、あるいは自らの理論や知識の不十分さ、学習不足を認識し、今後の学習や研究の課題を明確化させないといけない。今後も実習指導の向上のために、継続的に行っていくことが必要である。

参考文献

1. 田中チカ子・菅田栄子：施設実習に関する学生の意識(第3報)、松山東雲短期大学研究論集 第25巻 p. 113-125 1994.
2. 太田敬子：文化女子大学室蘭短期大学保育科施設実習に関する現況と考察、文化女子大学室蘭短期大学研究紀要 第25号 p. 30-40, 2002.
3. 小舘静枝他：施設実習マニュアル、崩文書林 1992
4. 大場幸夫・大嶋恭二：保育実習、ミネルヴァ書房 2005
5. 改訂 保育士養成講座編集委員会：全国社会福祉協議会 2005